

明日の大地

北海道新篠津高等養護学校
学校だより第1号
令和8年4月24日発行
Tel 0126-58-3280

HP <https://www.shinko.hokkaido-c.ed.jp/>

令和8年度の学校経営について

北海道新篠津高等養護学校長 星野健史

4月1日に着任しました校長の星野健史（ほしのたけし）です。校長として3校目となります。新しい年度が始まり、校舎にも生徒たちの明るい声が戻ってきました。一人ひとりが新たな目標を胸に、少し緊張しながらも前を向いて歩み出しています。

さて、令和になり、学校教育は指導者が教え込むのではなく、学ぶ生徒が何のために学ぶのか、学んだことを実際にどう使うのかを理解し、主体的に学ぶことができるよう、一人ひとりの学びやすい方法（ユニバーサルな学びの環境）を提供し、「手応えが感じられる学び」を提供することが学校に求められています。令和8年度の学校経営は、「**学校で完結しない教育～特別支援教育の生涯学習化～**」を教育理念に掲げ、学校教育目標を「**たくましく自立する人の育成**」としました。新篠津村と一体となった教育活動を推進し、生徒中心の学びを豊かにする特別支援学校へと深化していきます。



本校では、これまでも新篠津村の教育資源を活用させていただき、1年生が村内で現場実習を、新篠津村のふるさと納税返礼品では、6学科それぞれの作業学習の内容に合わせて、生徒一人ひとりの思いのこもった手作りの製品を提供させていただいています。最近では、村の商工会会長からコミュニティスペースを活用させていただき、生産技術科で焙煎したコーヒーの試飲としてカフェ運営をしています。生徒が心を込めてドリップしたコーヒーを無料で提供しますので、ぜひ御利用ください。

このように地域に出て学んだ力を試す場が「学校で完結しない教育」として大切にしたい教育活動の一つです。地域の方々とのやりとりを通じて、校内で学んだ知識や技能を生かし、地域の方々に「認められる」「感謝される」体験をすることで、生徒たちが働くことの意味や価値に気づくことができます。小さな成功や努力を積み重ねる中で、自信と喜びを感じられる学校でありたいと考えています。

本年度も、教職員一同力を合わせ、「こどもまんなか」を合い言葉に、生徒一人ひとりの成長を丁寧に支えてまいります。保護者の皆様、関係機関の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に温かい御理解と御協力をいただき、心より感謝申し上げます。

どうぞ一年間、よろしく願いいたします。

入学式

4月9日(木)、第34回入学式が挙行されました。新しい制服を身にまとった52名の新入生が入学を許可され、新篠津高等養護学校の生徒として一步を踏み出しました。呼名とともに返事をして起立するなど、一つ一つ丁寧な所作で最後まで式に臨みました。また、新入生代表挨拶では、「ここにいる34回生の仲間とともに、今日から始まる一日一日を大切にしながら、社会人として学校を巣立つ日まで、自分自身のペースでしっかりと歩んでいきます」と堂々とした挨拶をしてくれました。その言葉を胸に刻み、新篠津高等養護学校34回生が前向きに歩んでくれることを期待しています。



これから様々な経験を積んで学びを深め、葛藤を乗り越えながら成長していく時間を共に過ごしていきたいと思います。新入生のみなさん、保護者の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

1学年主任



学校図書館より



2階にある本校図書館には、約3,800冊の本がそろっています。毎年リクエストをもとに本を購入しており、昨年度は67冊の新刊が加わりました。

生徒の皆さんはもちろん、保護者の皆さまにも関心をもってください、是非、図書館を御活用ください。



《編集後記》

春の訪れとともに、今年度も新しい仲間がたくさん新篠津にやってきました。職員一同誠心誠意教育活動に取り組んで参りたいと思います。一年間どうぞよろしくお願いいたします。